

錦鯉のこと、

もっともっと知りたい！

Nishikigoi newsletter

vol.2

「錦鯉を身近に感じてもらうために」

◀ index ▶

1. クールジャパン EXPO in NIIGATA への出展報告
2. オンラインレッスンご紹介 3. TOPICS
4. 小学校の子ども達へ出前講座を行いました。
5. もっと身近に錦鯉！

クールジャパンEXPO in NIIGATAへの

出展報告

2024/10/26(土)・27(日)に開催された朱鷺メッセでのイベントへ(株)アクアリゾートと共同出展いたしました。様々な文化や産業、新潟の魅力を堪能する出展ブースが並ぶ中、当協会では「水槽で泳ぐ錦鯉」と「オンラインレッスン」のPRをさせていただきました。



アクアリゾートとの共同出展スペース

錦鯉を水槽で飼育できることを知らない方も多く、目の前の小千谷市ブースで展示された大きな錦鯉との大きさの差に驚く来場者もいったり、新たな魅力を伝える良い機会となりました。

また、共同出展のアクアリゾートがおもちゃ金魚すくいをしていたこともあり、訪れたお子様連れからは「小さくてかわいい」と喜んでる姿も見えました。当協会の取り組みを広く伝えることができた2日間でした。イベントに足を運んでいただきました皆様に感謝申し上げます。

オンラインレッスン ご紹介



オンラインレッスン

3~6ヶ月に1度のお掃除が大切！フィルター洗浄のやり方をレッスン

何となくの毎日の水替えとコケ落としくらいはできるけど…という方に！

大事な錦鯉を健康に水槽飼育するために重要な管理のひとつです。現状の状態・やり方が正しいのか不安な方にもおすすめです。

当協会ホームページより、
ファンクラブにご登録いただくとう受講申し込みが可能です。



「小千谷市」に後援団体として 参画いただきました！

新潟の誇る錦鯉を普及する活動として、さらに地域の文化を盛り上げるための連携を図っていきます。
その他、賛助会員様についてもホームページにてご紹介させていただきます。



「佐渡島の金山世界文化遺産登録」

佐渡市(2箇所)に錦鯉水槽が設置されました！

▷きらりうむ佐渡様

▷佐渡市役所様



水槽には小千谷市より寄贈された、山吹黄金・プラチナ黄金の美しい錦鯉たちが泳いでいます。

✂ 小学校の子ども達へ出前講座を行いました。



現在、県内公立小学校への錦鯉水槽提供プロジェクトとして、新潟市立大形小学校へ水槽を設置中。錦鯉は子ども達からも大人気のようで、水槽の周りは毎日たくさんの子ども達で囲まれています。

今回は、5・6年生の環境委員会の生徒へむけて、錦鯉の歴史をはじめとした、水槽飼育の方法や道具の説明、錦鯉の生態にまつわるクイズを交えた講座を開催！最後の質問コーナーでは

「一番高い錦鯉はいくらですか!？」

「お掃除にどのくらいの時間がかかりますか!？」

など、子ども達が興味津々に質問をしてくれました。

そして、先生方からも今回の取り組みについて『日本の宝である錦鯉に触れることができ、とてもいい活動だと思います。』と嬉しいお言葉をいただきました。

今年1月中旬には2校目である新潟市立下山小学校への水槽移動設置の予定です。

..... 子ども達からの嬉しい感想を一部ご紹介.....

私は、今日の委員会ではニシキゴイの事をより良く知ることができました。話を聞いてみたら、鯉の歴史は古くて、奇跡的な変化が起きていると分かった。ニシキゴイの話を聞いたら、もっと興味がわきました。これからコイのことをもっと知りたいなと思いました。

今日、私は、錦鯉の事を聞かせてもらって、私が学んだ事は、歴史のビデオを見て、最初の錦鯉の名前は、変わり鯉、戦後の変わり鯉だと言う事と、それから色鯉になり、そして、錦鯉とよばれるようになった。他にも、国魚、出世魚、武士魚や祝魚とよばれるおめでたい魚、くさんの色や模様があって、錦鯉に集まるとおもしろい。錦鯉の水にはいろいろな道具が用意されている。

いつもはバックナンバーをご紹介しているコーナーですが、今回は特別に「月刊錦鯉様」の最新号からお届けします。

今回は最新号
2025年1月号!!

本誌P18・19より 農林水産祭参加第64回新潟県錦鯉品評会

「接戦となった新潟農業祭 1票差で伊佐紅白が大臣賞に」

小春日和となった晩秋の新潟県小千谷で、11月9日(土)・10日(日)の2日間に渡って第64回新潟県錦鯉品評会が開催され、会場の小千谷市コミュニティプラザには国内外から1275人が来場した。

今大会59業者が参加し、昨年を上回る568尾のバラエティ豊かな錦鯉が出品され、9日(土)の11時から審査を開始。圧巻の体型を見せる紅白か、それとも100cmという巨軀を見せる昭和か、甲乙つけ難い両鯉の勝敗に注目が集まるなか、15対14という僅差で伊佐紅白に軍配が上がった。

1票差という近年稀に見る熾烈な接戦を制した紅白は、前回大会で80超部総合優勝を受賞しており、野池上がり6歳89cmで今大会出品。

惜しくも敗れた9歳100cmの大日昭和は、全体総合二席となる水産庁長官賞を受賞。

プールをのぞき込む来場者からは、大きいとの驚きの声が続々と聞かれた。両日を通して天候に恵まれたことで会場内は終始多くの人で賑わいを見せ、産地新潟の魅力を堪能していた。



国魚の日本一の祭典が行われます!

第55回全日本総合錦鯉品評会

日時:2025年1月25日(土)・26日(日)
会場:東京流通センター(第一展示場)
入場料:1,000円(中学生以下無料)

【お問い合わせ先】 TEL 025-282-7201
MAIL info@nishiki-goi-adviser.or.jp
新潟県新潟市東区空港西1丁目15番8号
(運営/株式会社アクアリゾート 担当/塚田)



NISHIKIGOI
AQUATIC MANAGEMENT ASSOCIATION

もっと身近に
錦鯉!